



『ましろのあさ』
作・絵: いもと ようこ
出版社: 金の星社

大好き！絵本

初瀬 恵美



今年度も早いもので、残りわずかとなりました。年長さんは、4月から小学生。新しい世界へ一歩踏み出していきます。

そんな年長さんに向けて、何かいい絵本はないかな？と園の絵本棚をみていて目に留まった絵本がありました。『ましろのあさ』という絵本です。今月はこの絵本をご紹介しますと思います。

タイトルに出てくる「ましろ」とは、表紙の白くかわいいうさぎの名前です。ましろは、生まれたときからずっと「あみの ヘヤ」(ウサギ小屋)にいました。おいしい人参も、きれいな水もいつもあり、ヘヤもきれい。何不自由ない生活でした。

ある日「**だけど、なんだかつまらない。…略…あみの そとは どんなだろう…**」と思い、「**そうだここを でしょう。じぶんの あしで はしってみよう。はねてみよう**」と決心したのでした。

外に出ると、犬に追いかけて危険な目にあったり、今までのように人参や水がもらえず、お腹はペコペコ。疲れきってヘトヘトになり、元いた場所へ帰りたくなります。そして、いつの間にか寝てしまい、目を覚ますと朝でした。目の前に「あさつゆ」があり初めて飲んでみました。「葉っぱ」もあったので、初めて食べてみました。すると「**なんて おいしいんだろう**」と感動します。人参しか食べれないとおもっていたけれど、そうではないことに、自分自身で気がついたのです。最後は、ましろがとびまわりながら喜びのうたをうたっているページでとじられています。

あらすじを書きましたが、この絵本は絵をご覧になられて初めて、伝わる物語の臨場感、ましろの気持ちの変化などを感じ取ることができると思います。絵は作者のいもとさんならではの、色や質感の柔らかさ、美しさがあり、あらすじ以上の物語性を感じることができると思います。

この絵も文も素晴らしい絵本から私が受けとったメッセージは、「外の世界へ一歩踏み出す勇氣」と、「自分の人生の主人公は自分自身である」ことでした。大変なことも伴うけれど、「やりたいことをやってみる」そしてどうすればいいか考える！ということの後押ししてくれている絵本だと思いました。

この絵本は現在、残念ながら販売休止中ですが、目に触れたときはぜひ、いもとさんの素敵な世界を楽しんでみてください。そして最後に年長さん、ご卒園おめでとうございます。卒園しても、どんどん自分の世界を広げていってくださいね。自分の人生の主人公でいられますように！



誕生日おめでとう

